

大項目	点検・評価項目	自己評価 3=優れている 2=適切 1=劣っている	自己評価項目総括	特記事項（特徴・特殊事情等）	評価 3=優れている 2=適切 1=劣っている	学校関係者評価委員よりの意見
教育理念・目的・目標とする人材	教育理念・目的・目標とする人材像が定められているか。	2	教育理念・目的・目標とする人材像が明文化されている。アドミッションポリシーについても文章化されている。学生に対し、学生便覧を用いオリエンテーション等において、修学の目的、目標、授業計画を理解させ、カリキュラムを履修させている。また、社会が求める人材要件を常に把握し、学習カリキュラムの改定に取り組んでいる。	【建学の精神】「誠意と情熱と誇り」を持ち、多様な価値観を受け入れ、国際社会に貢献できる人材を輩出することを使命とします。 【教育理念】ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校は、語学を自ら積極的に学び、身につけ、グローバル化が進む社会に対応できる人材を養成します。	2	理念目標は定められており、業界の意見、意向等を反映した教育カリキュラムの開発にも取り組んでいる点は、評価できる。将来的展望を見据えた教職員研修・教育等において今後力を入れていくことを願いたい。
	育成目標としている学生の人材像が社会のニーズを反映したものか。人材育成に関して関連業界からの意見や、協力を得ているか。	2	カリキュラム検討会議及び講師会議、企業訪問等により業界が求める人材像を明確にするとともに、授業課程の作成に活用している。各学科におけるインターシップ等については、新型コロナウイルス感染症の拡大があったが、各業界の方々の協力を得て、オンライン説明会、模擬体験等により希望する全学生が実施することができている。	【カリキュラム検討会議】2020年6月5日 2021年1月8日に開催している。 【講師会議】2020年10月16日に語学科目、ビジネス科目、一般科目別に開催している。		
	教育理念の達成と企業・業界の要望等に合致する構想の基、教育活動を実施しているか。	2	数年に渡る事業計画を年度ごとに計画作成し、人口動態を含め、ビジネス業界にのみならず、社会で必要とされる人材の育成を課題とし、学内の各種会議において教職員に対し学校の方向性を確認している。	教職員への理念の徹底の会議を実施しており、学校としての方向性が明確になっている。		
学校運営	運営方針が決められており、教職員全体に周知されているか。	3	運営方針は、毎年3月その内容を教職員に周知している。運営方針に沿った事業計画が策定されている。	特記事項特になし。	2	運営方針と事業計画の乖離はなく、教職員への周知・徹底も行われている。学生情報の一元化が遅れており 整備を図る必要がある
	意思決定システムは確立されているか。	2	学校としての意思決定システムがあり、それぞれの会議の位置づけ・目的について明確になっている。意思決定機関に関する規定等の整備がされている。	幹部職員による運営会議(リーダーミーティング)、定例会議(全体会議)等の実施はしている。規程の整備がほぼできている。		
	業界や地域社会に対するコンプライス体制が整備されているか。	1	業界に対して本校の法令遵守については、発信を行っているが、地域社会との関係強化ができていない。	地域社会との連携強化ができていない。		

学校運営	理事会は適正に運営、開催されているか。	2	毎年3回から4回開催し、事業計画等を含めた規定について理事会、評議会において承認している。	業界のニーズを反映したカリキュラムの変更等、学生獲得のための魅力ある学校にするべく学科の枠を超えた情報共有を図れる組織を目指している。	2	性別に関わり、正副と関係の男女望する。また、地域社会との連携強化を進める方法を模索願います。
	情報システム化による業務の効率化は図られているか。	1	個別のセクションにおける情報管理のシステム化の推進とその結果としての業務の効率化が図られている。しかし学生情報の一元化が遅れている。	学生の入学前の情報及び本校での成績、出席、指導記録、就職活動記録等の情報は整備されているが、一元化が遅れている。		
	人事や賃金に関する制度が整備されているか。	2	職員採用にあたっては、採用試験、面接、研修を実施している。人事評価システムが確立している。給与他各種規定についても整備されている。	人事制度 目標管理制度により本人の自己評価⇒管理者評価⇒人事評価（人事考課）のシステムを運用している。		
教育活動	教育の目標・目的に沿った教育課程の編成を行っているか。	2	学科カリキュラムは、カリキュラム検討会議や学生就職先企業訪問を通して、学生の状況、社会状況の変化を踏まえ作成している。	【カリキュラム検討会議】2020年6月5日に開催している。 【講師会議】2020年10月16日 語学科目、ビジネス科目、一般科目別に開催している。	2	教職員に対するキャリア教育・研修の充実が望まれる。各種検定・資格・試験に対する支援と評価を学校として再構築願います。
	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法・内容の工夫等がされているか。	1	授業にキャリア教育のカリキュラムを取り入れ、同時に専属の就職支援部署の設置を行い、学生支援を行っている。教職員に対するキャリア教育研修を計画中。	教職員に対するキャリア教育に関する指導・支援の研修ができていない。		
	授業評価を実施し、授業改善に活用しているか。	2	年2回在学学生アンケート調査を実施している。アンケートを基に教員・講師へのフィードバックを行い、改善を促している。授業内容にはまだ課題があり、改善の努力を継続すると同時に学生アンケート調査を講師にどのように伝えるかも課題である。	【講師会議】 年2回の講師会議で授業運営の成功例、失敗例をそれぞれの講師に話してもらい、講師の授業運営の改善を図る機会としている。 【学生アンケート】 アンケートの内容、時期、講師へのフィードバック方法を検討する必要がある。		
	成績評価・卒業認定基準を明確にしているか	3	卒業必要時間数（単位）については、オリエンテーションにおいて「学生便覧」を配布し全学生に説明している。また、各種会議において教職員間での学生の出席率、成績等について共通認識を持っている。	毎月学生の出席率を集計精査した上で出席率の良好でない学生に対しては、面談等の対応を行い、出席率の改善を指導している。また、学生への成績評価及び出席率については、教職員全員に配布を行っている。		
	学生の受賞状況、研修業績等を把握しているか。	2	学生の授業における研究発表や実績について学校として集約している。校内スピーチコンテストにおける成績等はイベントの中で表彰している。	理事長賞、成績優秀賞、優秀賞、努力賞等スピ地コンテストにおける分野別各賞を表彰している。		
	目標とする資格を教育課程上位置づけ、教育の資質向上に取り組んでいるか。	1	各学科資格取得、スコアの向上に向けたプログラムを作成しており、英語については、TOEICのスコアは向上している。秘書検定。簿記等の試験については受験者数の増加と合格率の向上が課題である。	各科目担当講師、教員との会議を実施し、成績の向上、受験者数、合格率の向上のため検討会議を実施する。		

	人材育成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	事務長、教務課課長を中心に事業計画に合わせた教員採用計画を立案し実施している。同時に教員の指導力等の資質向上のための外部研修を受講している。	・カウンセリング研修、キャリアコンサルタント研修、OJT研修、新入職研修等を実施している。		
学修成果	就職率の向上が図られているか	1	2019年度卒学生の就職希望者における就職率は79%であった。過去数年90%前後であった就職率が10ポイント程度低下した。今後①学生の就職への動機づけの早期実施 ②学生のモチベーション向上のための就職セミナー等の実施に取り組んでいる。	【就職状況の定期的チェック】①就職支援チームによる授業外での就職準備講座を実施。②キャリア形成授業との連携強化による学生個別指導の徹底。③就職相談時間を週に3回設定し、気楽に就職相談ができる組織体制とする。④担任と就職支援チームの連携を強化し、生活指導と合わせた進路相談体制取っている。	2	学生が社会で通用する知識と技術を身につけられるよう学校としての指導・教育を改善強化するとともに、業界からも信頼される人材の輩出機関として努力してほしい。
	資格取得率の向上が図られているか。	2	カリキュラム検討会議及び講師会議で各種資格取得、スコアの向上等について議論し、そのための実行策を講師、教員が一緒に考え実行している。	年々、学生の資格取得意欲とTOEICスコア向上意欲が醸成されているので、常に学校としても取り組みを強化し、一段の資格等取得率向上を実施している。		
	卒業生在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。	3	卒業生については、就職支援チームが中心となり、企業訪問や担当者との連携を取りながら把握している。在校生は担任による指導・面談等を実施し、学校内外での活動に関して支援を行う場合もある。	特記事項特になし。		
学生支援	就職に対する体制は整備されているか	3	各学年の就職活動スケジュールにより就職意識の向上のための学校行事を実施している。 【1年次】10月より就職活動開始イベントの実施。業界研究のための企業説明会実施。リクルート活動のための「スーツ着こなし講座」、「メイクアップ講座」等の実施。 【2年時】校内企業説明会、面接会の実施。就職個人面談の実施。就職模擬面接の実施。等を逐次実施している。	就職活動のための説明会を実施し、キャリア形成、ビジネスマナーの授業との連携で学生個人個人の就職準備とスケジュールの作成の支援をしている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のためウェブでの企業説明会等を開催し、就職活動の促進を図った。	2	就職率の向上と学生支援体制の一層の充実を期待します。また退学者を減少させることは教育機関として大切な事項です。学校全体での取り組みを期待します。
	退学率の低減が図られているか	1	学生相談室職員と各担任が連携し、出席率の改善指導、生活指導・相談業務を実施し、早期に学生の問題把握をおこない、退学者を減少させる対策を実施している。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により学生の経済的状況が悪化し、退学者の数、率ともに漸増している。学生との個人面談の機会増を図り、支援の方法等の相談に乗り、有効な対策を実施している。		
	留学生支援も含め学生相談に関する体制を整備している	2	留学生に関しては、入国管理局への在留資格取得や更新の手続きをビザ担当が実施しており、学生相談室とビザ担当が連携し、資格外活動の管理、生活面の相談を個別に実施している。	外国人留学生が多く、出身日本語学校との連携を強化しながら出席率、資格外活動の管理を徹底強化している。		

	卒業生のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか	2	卒業生による在校生を対象としたキャリアに関するイベント（就職体験）を実施している。	特記事項特になし。		
	卒業生に対する支援体制はあるか。	2	卒業生の再就職等の相談については、就職支援チームが中心となり支援を実施している。	卒業生の転職相談者は非常に少ない（年間数人程度）。		
	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	学則において「科目履修生」を規定し、認めている。また大学既卒者においても十分な修学効果がある体制が作られている。	現在「科目履修生」は受け入れがない。		
教育環境	施設・設備は、教育上必要性に十分対応できるか	2	学校設置認可の条件を満たしており、実習設備についても社会で多く使用されているものである。	パソコンについてはすべての教室に設置されモニターと連動して授業が可能となっている。パソコンルームには学生一人に一台ずつのパソコンが設定されている。また、図書室には学生が自由に使用できるパソコンが設置され、学習面での調査や研究、就職情報の取得等に利用できる。	2	教育施設・設備の充実と防災意識の向上が一層図れるようお願いいたします。
	学外授業、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	2	学外実習については、フィールドワークの授業を実施し、学外での実社会での知見を広めるよう計画されている。インターンシップについては、関連企業との連携により学生にとって安全で教育効果のある、インターンシップができるよう体制を整えている。また海外研修については、「短期留学制度」があり、希望する学生は「短期留学費用」の内53万円までの「海外留学支援金を支給される。	海外留学はオーストラリア、カナダ等に「短期留学」が可能。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により移動を伴う学生行事は、中止とした。		
	防災に対する体制と学内における安全管理体制が整備されている。	2	消防計画を作成し、年2回の防災訓練を実施している、別途学生全員が救急救命講習を受講し、資格を取得している。	世田谷消防署の協力の基、積極的に防災総合訓練、救急救命講習を実施している。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため「救急救命講習」は中止とした。		
学生の募集と受け入れ	高等学校に対して教育活動等の情報活動を行っているか。	3	高等学校に対しては、資料請求者のいる学校及び実績校に対し毎年「募集要項」を始めとし本校資料を送付している。また、高等学校で実施される「進学説明会」にも積極的に参加している。	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校ホームページ ( <a href="https://www.york-gba.ac.jp">https://www.york-gba.ac.jp</a> ) 上でも公開している。	3	高等学校とのより一層の連携強化が重要だと思われる。今後も日本人学生の入学増を重要課題として取り組んでください。
	学生募集を適切かつ効果的に行っているか。	3	学校として「東京都専修学校各種学校協会」に加盟し、当該協会の定める規則に則り、募集時期、募集方法、募集内容等を遵守している。校内説明会を定期的に行い、本校志願者の希望に合わせた説明会を実施している。	内容的には、「体験授業」「校内説明会」「キャンパスガイド」等を実施している。		

	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行い、選考に関する実績の把握ができていますか。	3	入学選考においては、募集要項に基準を明記している。可否の判定に関しては、学校長、事務長、教務課長、広報責任者、面接担当者により構成される、「入試判定会議」により可否を判定している。また、面接、提出書類、筆記試験等が実施されている場合は、その結果をふまえて総合的に判断している。	本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため「入学選考」を受験生の立場を考え柔軟的対応を行った。	
	学納金は妥当なものとなっており、入学辞退者に対し適正な取り扱いを行っているか。	3	学納金は適正かつ妥当なものであると考えている。3月31日までの入学辞退者に対しては、入学金以外はすべて返金している。	募集要項にテキスト代を含め、入学後に必要な金額を明示している。また、各学年前後期の授業料を分納することも認めており、学生及び保護者の経済的負担を軽減している。	
財務	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2	3か年を見通した事業計画と収支予算計画を作成しており、財務基盤の安定に努めている。	2018年度以降経常収支差額はプラスで推移している。より安定した財務基盤となるよう、収支予算計画は学生募集状況、教職員採用予定と連動して作成されている。	2
	予算・収支計画書は有効かつ適正なものとなっているか。	2	学校の教育目標、理念に基づいて3か年の収支予算を作成している。収支予算所については、役員とも協議し、必要に応じて理事会の承認の基、修正を行う場合もある。	単年度の予算については、各部門においても精査の上、部門ごとの予算計画を作成している。執行状況は定期的に定例会議で確認し、必要に応じて対策を講じている。	
	財務について会計監査が適正に行われているか。	2	監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会において報告をしている。	私立学校法上に義務づけされている「監事による監査」を適正に実施している。	
	財務情報公開の体制整備はできているか。	2	私立学校法に基づく財務状況の公開体制は整備されている。寄付行為の変更認可及び行政への届出をしている。財務情報の公開を予定している。	学校情報として、学校ホームページ上に6月中に公開している。	
法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	2	法令遵守を学校の方針としており、教職員全員で実行に努めている。法人本部にコンプライアンス委員会があり、学校運営が適正かどうかを判断している。	法人本部コンプライアンス委員会からの情報発信を受け、必要に応じて研修等を実施している。	1
	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	2	法人本部に個人情報保護委員会があり、適宜情報の提供を受けている。教職員、講師、学生の個人情報はPCでの管理を行い、PCのデータ保護には必要な措置を講じ、個人情報の漏洩を防止している。	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを作成予定。	
	自己点検、自己評価の実施と問題点の改善に努め、その結果を公表しているか。	1	自己評価及び年2回在学生アンケート調査を実施している。アンケートを基に教員・講師へのフィードバックを行い、改善を促している。	自己評価については、6月中にホームページ上に公開している。	

財務状況は改善されており、今後も継続的に健全な学校経営が行われるよう期待します。

法令遵守、個人情報保護については適切に運営されており、学校情報の各項目の公開を学校ホームページ上で実施している。

	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価結果を公表しているか。	1	学校関係者評価会議を実施し、評価結果を得ている。また、その結果を学校として関係部署にフィードバックを行っている。	学校関係者評価については、6月中にホームページ上に公開している。		
	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	1	教育情報に関する情報公開を2019年まで積極的に実施していなかった。2020年度より公開する。	教育情報に関する情報については、6月中にホームページ上に公開している。		
社会貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	2	学校として地域からの信頼は重要な事項として捉え、地域貢献活動についても検討されている。	地域貢献活動の実際は、学生・教職員による地域清掃活動を年2回実施しており、地域社会からの信頼を得ている。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため清掃活動は中止とした。	2	学校施設等を使用した地域貢献活動についても検討・協力をお願いしたい。
	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みをしているか。	2	「語学・ビジネス」の専門学校として、毎年海外からの留学生を中心とした異文化理解のイベントを実施している。また卒業生、在校生を参加対象とした「ホームカミングデー」を開催し、留学生による海外の文化の紹介等を企画・実施し、国際交流の取り組みを行っている。	本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため「ホームカミングデー」は中止とした。		
	学生のボランティア活動を奨励し、活動支援を行っている。	1	学校として、ボランティア活動は推奨しているが、実態を把握できていない。	今後学生のボランティア活動を学校として把握する方法を検討する。		